

中学校 国語 活用問題

【2023年度版】

問題について（生徒の皆さんへ）

- 1 問題は二十七問あります。解答は、問題用紙に記入しましょう。
- 2 問題は、次のような視点から作られています。それぞれの内容で、取り組みやすいものから順に並べてあります。



話すこと・聞くこと

- 1 聞き手を意識して発表をする（学校紹介のスピーチをする）
- 2 効果的なインタビューをする（県大会出場について取材する）
- 3 立場を決めて討論する（読書に対する意見を述べる）
- 4 目的に応じて話し合う（リーフレットの構成を考える）
- 5 調べたことを発表する（関心のある阿波弁について報告する）
- 6 資料を作成して発表する（学校紹介のプレゼンテーションをする）
- 7 インタビューしたことを報告する（職業について取材する）
- 8 資料と関連づけて話し合う（卒業文集の写真を選ぶ）
- 9 司会の役割を考える（合唱コンクールへの取り組みを話し合う）
- 10 司会の役割を考える（あいさつへの取り組みを話し合う）
- 11 案内文を書く（学習発表会の案内文を書く）
- 12 話し合いと関連づけて書く（職場体験のお礼状を書く）
- 13 自分の考えを論理的に書く（標語を批評する文章を書く）
- 14 情報を読み取り根拠を明確にして書く（意見文を書き直す）
- 15 書いた文章の表現を考える（枕草子をまねて書いた随筆を修正する）
- 16 根拠を明確にして書く（浮世絵の鑑賞文を書く）
- 17 資料を関連づけて自分の考えを書く（パンフレットを作る）
- 18 話し合いと関連づけて読む（宮澤賢治の詩を読む）
- 19 情報を整理して読む（ハンバーグの作り方を説明する）
- 20 複数の資料を関連づけて読む（うず潮について調べる）
- 21 文学的文章を読み比べる（「富嶽百景」を読む）
- 22 社会について考えをもつ（日本の農業について考える）
- 23 叙述を根拠に自分の考えをもつ（「吾輩は猫である」を読む）
- 24 文学作品に親しむ（「羅生門」を読む）
- 25 慣用句の用例を書く（慣用句を調べる）
- 26 古文を読み比べる（兼好法師の友人親について考える）
- 27 古文に親しむ（「徒然草」の作者の考えや古典用語からその時代を知る）

書くこと

読むこと

知識及び技能

- 3 言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしてください。
- 4 解答を読んで自分で答え合わせをすることもできるよう問題を作成しています。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしてください。

